

お客様各位

2022年9月28日  
北興化学工業株式会社

## 変更登録のお知らせ

平素より弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。  
此の度、2022年9月28日付で下記農薬の適用が変更登録されましたので、お知らせ致します。

### 農薬名

第22560号 フェルテラ箱粒剤 (エフエムシー・ケミカルズ株式会社 登録)

### 変更の内容

- ・ 作物名「稲(育苗箱)」の使用量に「高密度には種する場合は1kg/10a(育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50~100g)」を追加する。

### 【変更後の適用内容】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロフラニドを含む農薬の総使用回数
稲 (育苗箱)	ニカメイチュウ ゴブノメイガ フタオビコヤガ イネツトムシ イネドロオイムシ イネミズゾウムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	は種前	1回	育苗箱の床土に 均一に混和する。	1回
	は種時覆土前 ~移植当日		育苗箱の上から 均一に散布する。			
	移植当日					
	ツマグロヨコバイ イネヒメハモグリバエ	高密度に は種する場合は 1kg/10a (育苗箱(30×60 ×3cm、使用 土壌約5L)1箱 当り50~100g	は種時覆土前 ~移植当日	1回	育苗箱の上から 均一に散布する。	1回
	移植当日					

### 【変更後の注意事項(追加・変更部分)】

- ・ 薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行うこと。
- ・ 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整する。
- ・ 空袋はほ場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理すること。

変更登録後の製品情報の詳細はこちら [\(農薬製品・安全データシート\(SDS\)一覧\)](#) からご参照下さい。

以上